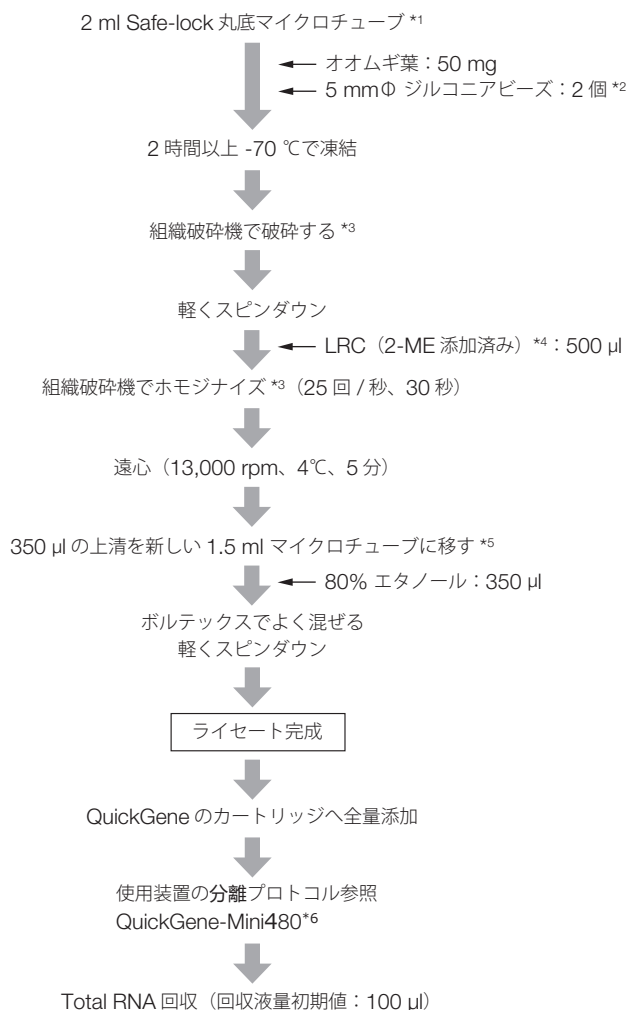


## オオムギ葉からの total RNA分離

## | プロトコル



\*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

\*2 ニックター社 (NIKKATO Co.Ltd.)

\*3 ティシューライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破砕法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

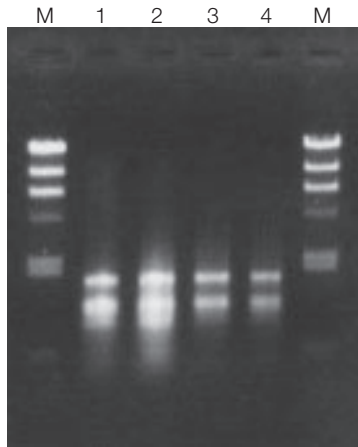
\*4 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

\*5 繊維が多少混じっていても結果に影響はありません。

\*6 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

### 電気泳動図



電気泳動条件  
0.8% アガロースゲル  
TAE  
2  $\mu$ l のサンプル / ウエル

M:  $\lambda$ -Hind III (100 ng)  
1: コムギ葉 (*gramineae*)  
2: オオムギ葉 (*gramineae*)  
3: *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)  
4: *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

### Total RNA の収量

オオムギ葉	12.2 $\mu$ g
-------	--------------

### タンパク質の混入：A260/280

オオムギ葉	2.12
-------	------

### カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

### その他

データなし

## 共通プロトコルサンプル

*N.benthamiana* 葉、*C. quinoa* 葉、コムギ葉